

基本的な使用法 (II)

—電子メールとニュース—

大西 淑雅*, 藤木 健士**

新システムは学内LANを通じて、大学や企業の間を結ぶネットワーク (JUNET など) に接続されている。これを用いてネットワークに接続された世界各地のユーザとコミュニケーションを取ることができる。その手段としてよく用いられているものに電子メールとニュースがある。

電子メールは、個人またはグループといった特定ユーザ間でのやり取りに利用される。これに対し、ニュースはある共通の話題について不特定多数のユーザ間でのやり取りに利用されている。本稿では、これらの基本的な使い方について解説する。

1. 電子メール

UNIXシステムでは、電子メールを使うために、mail コマンドが標準的に提供されている。しかし、大量のメールを操作するには少し機能不足である。現在、よく使われているツールは、NEmacs の RMAIL モードと MH (Mail Handler) などである。どちらをが便利で覚えやすいか議論の別れるところであるが、ここでは、NEmacs でメールを書く (MAIL モード) とメールを読む (RMAIL モード) の使い方を説明する。

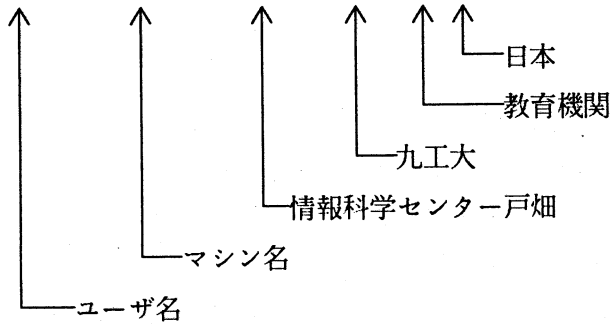
アドレスについて

電子メールと呼ばれるからには、当然それを送受信するためのアドレスが必要となる。たとえば、九工大の戸畑のある学生 (ユーザ名が a92003mh とする) のメールアドレスは次のようになる。

* 情報科学センター ohnishi@isci.kyutech.ac.jp

** 情報科学センター fujiki@isci.kyutech.ac.jp

a92003mh@kisaragi00.isct.kyutech.ac.jp



メールアドレスが理解できたところで、NEmacs の各モードについて簡単に説明する。
MAIL モードはメールを作成し送信するためのモードであり <Esc> x mail コマンド (ESC キーを押し、次に x キーを押し、最後に mail と入力する) で MAIL モードに移行する。また、RMAIL モードは届いたメールを読んだり、その保存や破棄を行うためのモードであり <Esc> x rmail コマンドで RMAIL モードに移行する。

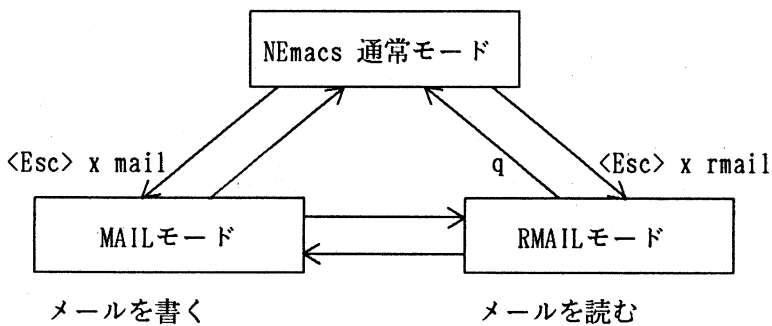


図1. NEmacs のモード

2. メールを書く (MAILモード)

メールを書くには、NEmacs を起動した状態から MAIL モードに移行しなければならない。このときの NEmacs のウィンドウは次のようになる。

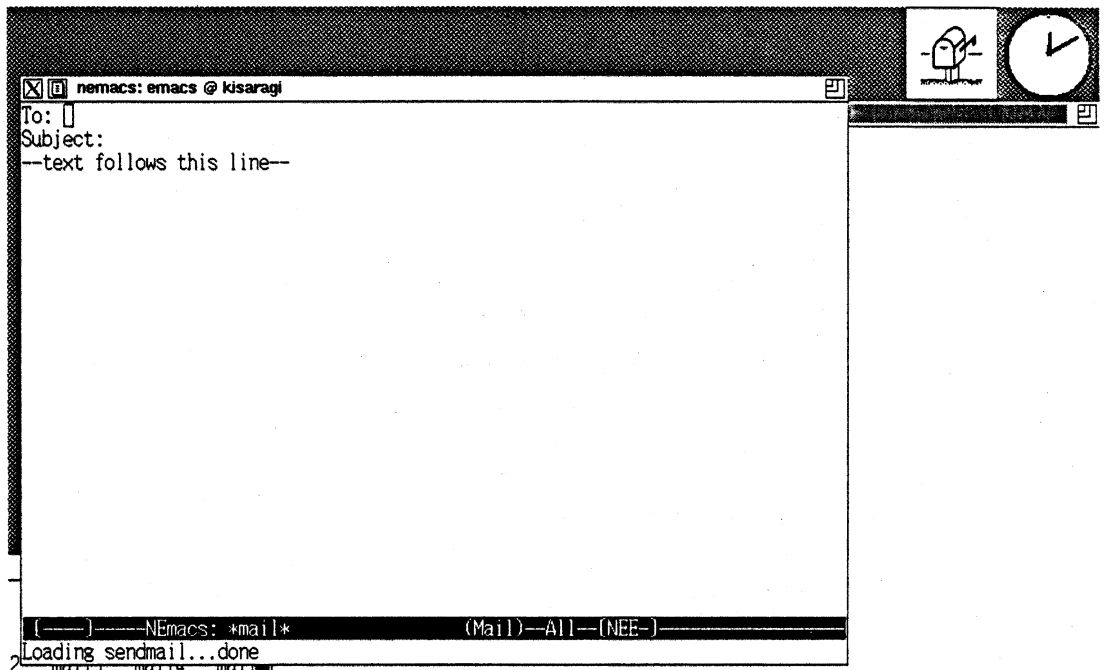


図2. mail モードへ移行した状態

画面上の To: はメールを出す相手のアドレスを記述するフィールドであり、Subject: はメールの内容を示すタイトルを記述するフィールドである。メールの本文は ---text follows this line--- の次の行から書くことになる。

以下の例は、あるユーザ (ohnishi@isci) が自分自身にメールを出す手順を示したものである。自分のアドレス (ohnishi@isci.kyutech.ac.jp) を確認して、To: フィールドに記述してみる。メールの送り先アドレスをタイプしたら、次の行の Subject: フィールドに Ctrl-n でカーソルを移動させる。この時、誤ってリターンキーを押すと、フィールド間に空行ができるが差し支えない。

To: ohnishi@isci.kyutech.ac.jp
Subject: ■
---text follows this line---

Subject: フィールドでタイトルを記述し、4行目に移動 (Ctrl-n を2回) する。

To: ohnishi@isci.kyutech.ac.jp
Subject: mail test
---text follows this line---

■

4行目以降は自由に文章を書いてよい。日本語の文章を入力するには、Ctrl-Y (Ctrlキーを押したまま¥キーを押すこと) でかな漢字変換モードに切り換える。Ctrl-Y はトグルスイッチになっているので、もう一度入力すると英字モードに戻る。

To: ohnishi@isci.kyutech.ac.jp
Subject: mail test
---text follows this line---
こんにちは、私は太郎と呼ばれています。

ローマ字入力でかなを入力して、適当なところでスペースキーを押すと変換される。次候補はスペースキーで、確定はリターンキーで行う。また、文章の訂正方法は、通常のプログラムの編集と同じであるので、別稿の「基本的な使用法 (I)」を参照されたい。

文章を最後まで入力したら、メール送信コマンド (Ctrl-c Ctrl-c) を使って送信する。このコマンドはメールを送信後、MAIL モードを抜けて通常モードに移るので、新たに別のメールを書く場合は、もう一度 MAIL モードに入る必要がある。

表3. MAIL モードで使用されるコマンド

コマンド	機能
Ctrl-c Ctrl-s	メールの送信
Ctrl-c Ctrl-c	メールを送信しモードを終了
Ctrl-c Ctrl-y	RMAIL の現在のメッセージを複写
Ctrl-c Ctrl-w	signature ファイルの読み込む

3. メールを読む (RMAILモード)

メールが届いていると、画面右隅のメールボックスがハイライト状態が表示されている。先ほどの MAIL モードと同様に NEmacs を起動し、<Esc> x rmail コマンドで RMAIL モードへ移行する。RMAIL モードへ移行すると NEmacs のウィンドウは以下ようになる。

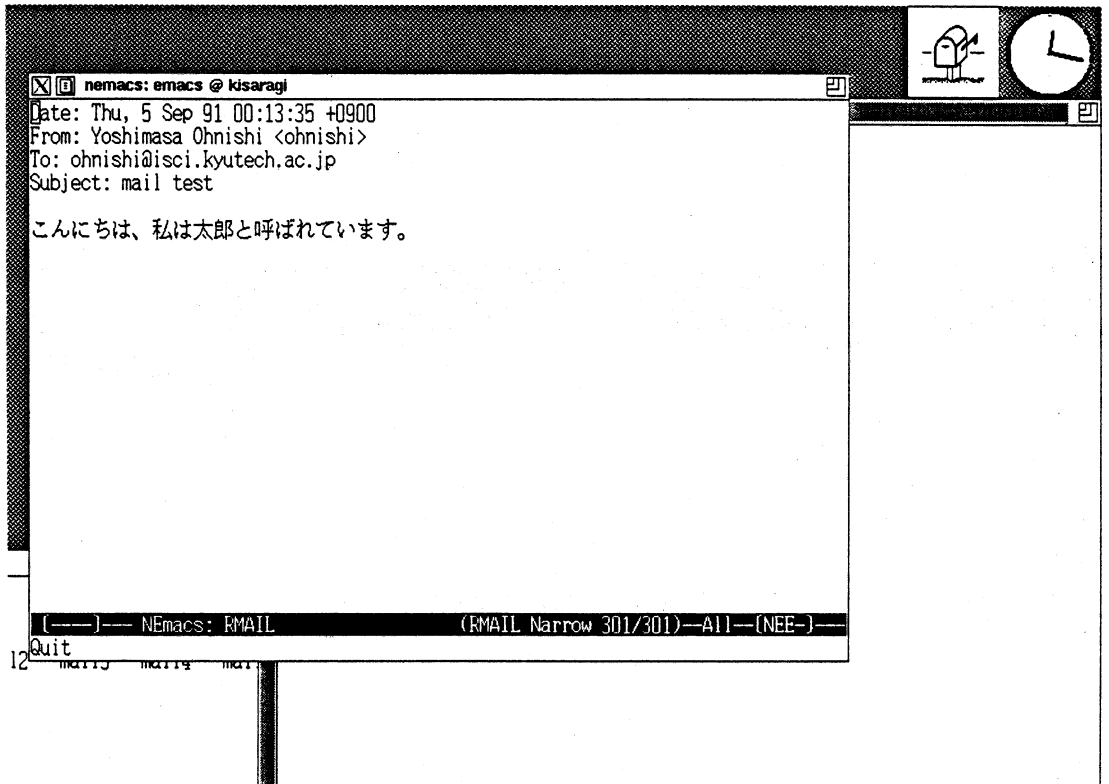
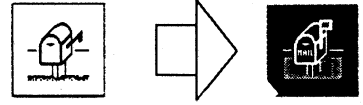


図4. RMAIL モードへ移行した状態

先ほど送信したメールが表示されている。Date: フィールドはメールが届いた時刻が記述されている。このフィールドを見ることで、そのメールがいつ届いたものか簡単に知ることができる。From: フィールドはメールの発信者のユーザ名が記述されている。To: フィールドはメールの送信先アドレスが記述されている。前節で発信したメールの場合、自

分のアドレスが記述されているはずである。このメールの内容が他のユーザにも送られている場合は、このフィールドに別のアドレスも含まれている場合もある。Subject: フィールドにはタイトルが記述されている。

メールの内容が長い場合、画面にはその一部しか表示されない。その他の部分を表示するには、スペースキー（スクロールアップ）とDELキー（スクロールダウン）を使用する。

サマリーの表示

複数のメールが届いている場合に、次のメールを見るにはnキー（next）を前のメールを見るにはpキー（previous）を押す。これで、複数のメールを見ることができ、たくさんのメールの中から読みたいメールを探す方法として、サマリー表示を使うと便利である。サマリー表示では、メッセージ番号、日付、送信者、サブジェクトなどが表示される。サマリー表示を行うには、RMAIL モードの状態ではhキーを押すとよい。

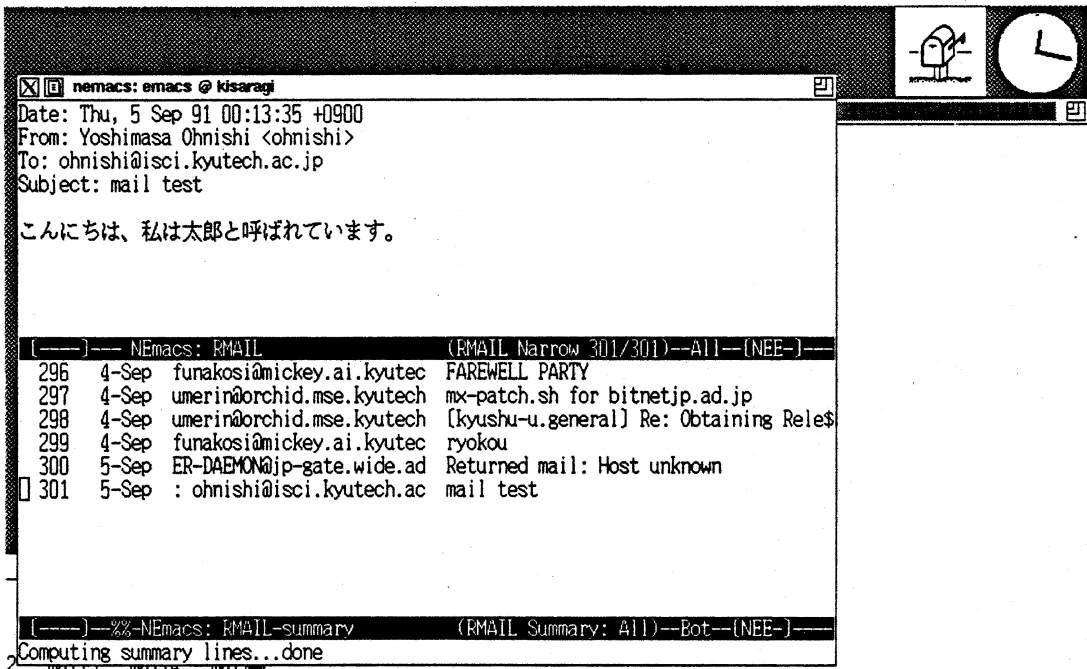


図5. サマリーの表示

サマリーを表示している状態では、次に示すキー（コマンド）を使用することができる。不要になったメールの削除も可能である。なお、サマリー表示をやめるには、q (quit) コマンドを使用する。このコマンドを使用すると RMAIL モードも終了するので、メールを続けて読みたい場合は、もう一度 RMAIL モードにする必要がある。

サマリー表示中のコマンド

コマンド	機 能	コマンド	機 能
<SPC>	スクロールアップ	Ctrl-d	削除マークを付けて前へ
	スクロールダウン	u	削除マークを取り消す
n	次のメールを表示する	Ctrl-n	次のメールを表示する
p	前のメールを表示する	Ctrl-p	前のメールを表示する
d	削除マークを付けて次へ	q	サマリーを終了する

注意 Ctrl-n と Ctrl-p では削除マークを付けたメールも対象となる。

サマリー表示を行わない場合も、次のコマンドが使用可能である。

RMAIL モードのコマンド

コマンド	機 能	コマンド	機 能
<SPC>	スクロールアップ	Ctrl-d	削除マークを付けて前へ
	スクロールダウン	u	削除マークを取り消す
n	次のメールを表示する	Ctrl-n	次のメールを表示する
p	前のメールを表示する	Ctrl-p	前のメールを表示する
d	削除マークを付けて次へ	q	サマリーを終了する
j	先頭のメールを表示する	>	最後のメールを表示する

注意 Ctrl-n と Ctrl-p では削除マークを付けたメールも対象となる。

4. 返事を出す (RMAIL-REPLY)

RMAIL モードでメールを読んで、返事を書く場合は、r (rmail-reply) コマンドが便利である。このコマンドは、メールのアドレスを自動的に設定してくれるので、To: フィールドに相手先のアドレスを記述する必要はない。rmail-reply コマンドを実行すると、次のように画面が2分割される。

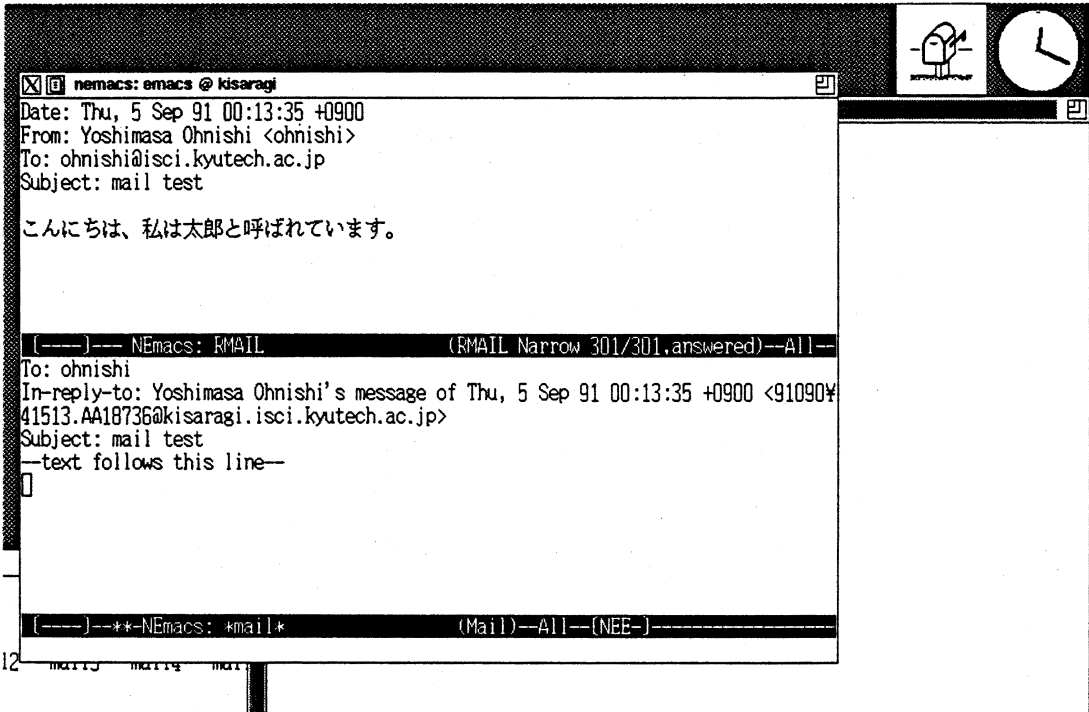


図6. rmail-reply を実行した状態

MAIL モードと同様に、---text follows this line--- 以降の行に返事を書くことができる。返事の送信には、Ctrl-c Ctrl-c (送信後終了する) または、Ctrl-c Ctrl-s (送信のみ) を使用する。

5. ニュース

ニュースの読み書きには NEmacs 上で動作する GNUS を用いるのが一般的である。ここでは、この GNUS の使用方法について簡単に述べる。GNUS を使うにはまず、NEmacs を起動し `<Esc> x gnus` を実行する。すると図7の画面が表示される。

```
32: fj.rec.tv
264: fj.soc.traffic
25: fj.sources
25: fj.sys.x68000
13: fj.unix
13: fj.wanted
1: fj.windows.misc
4: jp.inet.tech.mail
1: jp.inet.tech.misc
3: kyushu-u.general
1: kyushu.general
1: kyushu.misc
1: kyutech.bbs.general
1: kyutech.bbs.iscnews
1: kyutech.bbs.misc
1: kyutech.bbs.q-and-a
1: kyutech.bbs.test
4: kyutech.living
----- GNUS: List of Newsgroups (GNUS Newsgroups: news.isci.kyutech)
SPC:Select n:Forward p:Backward q:Exit C-c TAB:Run Info ?:This help
```

図7. GNUS 起動時の画面

この画面にある `kyutech.general` のように書かれているのはニュースグループである。ニュースグループは、そこで扱われるニュースの特徴を示すものとなっている。たとえば、`fj.` (from Japan の意味) で始まるニュースグループには日本語で書かれたニュースが投稿されており、`fj.rec.music` では音楽関係の話題が取り扱われているといった具合である。

ニュースグループ名の左にある数字はそのニュースグループの中で読むことのできるニュースの数を示している。たとえば、図7の例だと `fj.rec.tv` には新しいニュース（新しく到着しているが、まだ読んでいないニュース）が32あることを示している。

6. ニュースの読み方

ニュースを読むためには図7のGNUSの起動時の画面で、読みたいニュースグループの行にカーソルを移動（nキーとpキーを使用する）して、そこでスペースキーを押す。すると図8のような画面が表示される。

```

D 218: [ 35:TI4107%JPNKIS]      student programming contest
219: [ 16:morita%SERI.1]      BTRON (In Japanese/Kanji)
[-----] NGUS: student programming contest (GNUS Subject) --All
From: Toyohiko Hirota <TI4107%JPNKISCI.BITNET@jpnkisci.kyutech.ac.jp>
Newsgroups: kyutech.bbs.general
Subject:      student programming contest
Date: 29 Aug 91 05:52:31 GMT
Distribution: kyutech

      ODU学生プログラミングコンテストへの参加案内

ODU（オールド・ドミニオン大学）は米国バージニア州ノーフォークにある
大学で、本学（九工大）とは姉妹校の関係にあります。そしてODUの
Prof. Overstreet は6月から8月まで、招顕研究者として九工大に滞在されて
いました。このたび、Prof.Overstreetから、九工大の学生もODU学生
プログラミングコンテストに参加してみないかとの誘いのメールが
きました。
[-----] NGUS kyutech.bbs.general{218} (GNUS Article) --Top-- [EE] --

```

図8. ニュースを読む画面

この例では student programming contest という subject でだされた記事を表示している。ここでニュースを見るための主なコマンドを次の表に示す。

表9. 主なニュースコマンド

<SPC>	表示されている部分に続く内容を表示する
<Bs>	表示されている部分より前に書かれている内容を表示する
n	次の記事に進む
q	初期画面（ニュースグループを表示した画面）に戻る

7. ニュースの投稿方法

ニュースの投稿は、図7の画面が表示されている状態で a を入力することにより行える。これを行うとまず次のようにメッセージが表示される。

Are you sure you want to post to all of USENET? (y or n)

ここでは y を入力する。

次にニュースグループを入力するように要求されるので、そこではニュースを出したいニュースグループ名を入力する。たとえば kyutech.general に投稿したい時には次のように入力する。下線部がユーザが入力する部分である。

Newsgroup: kyutech.bbs.general

次にサブジェクトを入力する。これには、ニュースの内容を示す簡単な表題を入力する。ここでは全角文字が使うことができないので、すべてアルファベットを用いて入力する。以下に例を示す。

subject: I want a piano score of AUTUMN.

次に入力するように要求される distribution は配布の範囲を指定するものである。ここでは、日本全国にニュースを配布するなら fj, 九工大に限定するなら kyutech を入力すればよい。しかしほとんどの場合、ここではデフォルトが表示されるので、その値を用いればよい。次の例は九工大に限定してニュースの配布を行うように指定した場合である。

distribution: kyutech

以上の設定が終わった後、図10の例に示したように --text follow this line-- の次の行に記事の内容を書く。

```

1: kyushu.misc
1: kyutech.bbs.general
1: kyutech.bbs.iscnews
1: kyutech.bbs.misc
1: kyutech.bbs.q-and-a
1: kyutech.bbs.test
4: kyutech.living
4: kyutech.misc
----- NGNS List of Newsgroups (GNUS Newsgroups {news.isci.kyutech.a
Newsgroup: kyutech.bbs.general
subject: I want a piano score of AUTUMN.
Distribution: kyutech
--text follow this line--
情報科学センターの藤木です。
私は、ジョージウinstonのAUTUMNの楽譜を探しています。
もっておられる方がいらっしゃいましたら、連絡を下さい。
よろしくお願いします。
----- ** NEmacs ** post-news * News--All--FF-----

```

図10. ニュースの投稿の画面

記事を書き終わった後、Ctrl-c Ctrl-c を実行するとニュースが投稿される。この時、事前に .signature という名前のファイルを作成しておくとそのファイルの内容がニュース内容の後に追加されて投稿されるので、このファイルに自分の名前や所属などを記述しておくとう便利である。

8. Follow, Reply の方法

他の人が出した記事に対して意見を述べたい場合に follow や reply の機能を使用できる。follow とは記事に対する意見や返答をニュースに出すことで、ニュースを出した人以外にも自分の返答を読んで欲しいときに使用する。それに対して、reply は返答をメールで投稿した人だけに送る方法である。

以下にこの機能の使い方を示す。まず図8の subject のウィンドウで返事を出したい記

事の行にカーソルを置いた状態で, follow したい場合には f を reply したい場合には r を入力する. 図11の例は 220 番のニュースに Follow する例であるが, カーソルを Subject のウィンドウ (上のウィンドウ) の 220: の右に移動し f または r を入力すると follow のニュースの投稿や, reply のメールの送信ができる.

```

D 218: [ 35:TI4107%JPNKIS]      student programming contest
D 219: [ 16:morita%SERI.1]      BTRON (In Japanese/Kanji)
220: [12:fujiki@isci.k]        I want a piano score of AUTUMN.
----- NGUS: student programming contest (GNUS Subject)-----
From: Takeshi Fujiki <fujiki@isci.kyutech.ac.jp>
Newsgroups: kyutech.bbs.general
Subject:      I want a piano score of AUTUMN.
Date: 29 Aug 91 05:52:31 GMT
Distribution: kyutech

情報科学センターの藤木です。
私は、ジョージウィンストンのAUTUMNの楽譜を探しています。
もっておられる方がいらっしゃいましたら、連絡を下さい。
よろしくお願ひします。

----- NGUS kyutech.bbs.general:220: (GNUS Article)--Top-- [FF] --

```

図11. Follow, Reply を出す方法

図11の画面で f か r のキーを押した後は, 上記ニュースの投稿と同じ方法で操作を行うことにより, Follow や Reply を行うことができる.